

未来へ(東中だより)

第20号 令和5年2月24日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ

「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL: 0952-52-2529 Fax: 52-8184

<https://www.education.saga.jp/hp/higashishifuri-j/>

人の成長は 努力と集中

2月22日 全校集会

今月は、1年生が「職業人に学ぶ」、2年生が「立志式」、そして3年生は進路へ向けて頑張っている真っ最中ですので、職業や進路に関する話をしました。以下、一部要約して記します。

「立志式の折に、夢や目標を叶えるためには、プラスの言葉を発したほうが良いと言いました。しかし、言葉を唱えるだけで目標が達成されるのでしょうか。そのことを考えた時に思い出すことがあります。それは、私が若い頃に出場した社会人の剣道大会での来賓の話です。長い話になるのかなと思って聞いていたところ、その方は簡単明瞭に『人の成長は努力と集中！』と言われました。仕事であれスポーツであれ、一足飛びに目標が達成されるものではありません。こつこつと同じことを繰り返し、職人技に達します。また、場合によっては雑念をシャットアウトして、一つのことに専念することが必要だということです。まさにその通りだと思いました。

『天職』という言葉があります。その人にピッタリの職業という意味で使われますが、英語では calling と言います。もともとピッタリの職業があるのではなく、その人の努力や成果を天が認め、『呼ぶ・宣告する』と解釈できます。たとえば、佐賀県出身者に経営の神様と呼ばれる人がいました。リコー三愛グループの創始者市村清氏です。市村氏にとって、会社経営は天職と言えるものですが、氏は毎日の仕事を大切に、困難への対応を粘り強く行われていました。

自分に合った仕事はなんだろうと問う人がいますが、基本は自分の能力・適性・関心に合ったものです。しかし、その能力・適性・関心も、様々な学習や経験を経る中で変わっていきます。要は、目の前のことにしっかり取り組むことが大切です。結果的に、まさかこの仕事を生業とするとは思わなかった、という社会人はたくさんおられます。やはり、努力と集中で天職は得られます。

前述した来賓の方ですが、もう一言付け加えられました。それは、『人の墮落は無責任』という言葉でした。ドキッとしました。私たちは自分のすべきことをきちんと行っているでしょうか。自分の失敗を人のせいにしていないでしょうか。心にとどめたい言葉です。」

3年面接指導

3年生の県立高校一般選抜に向けて面接練習を行いました。全職員が関わっての面接指導です。出入りのマナー・礼法から応答まで一通り学級で練習をしていますが、模擬面接では緊張感が違います。志望動機のわかりやすい説明と、質問への的確な応答が大切であると改めて感じたようです。



<表彰 おめでとう> (敬称略)

○新春読書感想文コンクール県審査

優良 池田和香

○九州地区中学校選抜ソフトテニス選手権佐賀大会

優勝 宮原澄羽 門田大翔 福井直樹

○ナガセケンコー杯中学校ソフトテニス研修大会

1・2位トーナメント 第3位

宮原澄羽 門田大翔 福井直樹

3・4位トーナメント 準優勝 香田海人



AED講習

2月22日の2年生の体育の授業で、消防署から4名の講師を招いて AED 講習を行いました。署員は、まず AED が学校のどこにあるのかを知っておくこと、AEDを使う前の胸骨圧迫法を心得ておくことが人命救助を左右すると言われました。

生徒たちは、1分間に110回くらいの圧迫を繰り返しましたが、かなり力が必要なことに驚いていました。救急車が到着するまで平均で8分かかります。それまで他の人と協力して圧迫を続けること、肘を伸ばし、垂直に体重をかけて押すことを学びました。

そのあと、AED を実際に活用しての体験を行いました。緊急の場合でこそ落ち着いて説明書を読み対応することが望めます。



画像の公開を
控えています

天職：自分に合った仕事とは

・自分の能力、適性、関心にあったもの



・しかし、能力、適性、関心は変わっていく。

・要は、目の前のことにいかにしっかり取り組むか。

人の成長は
努力と集中
人の墮落は
無責任